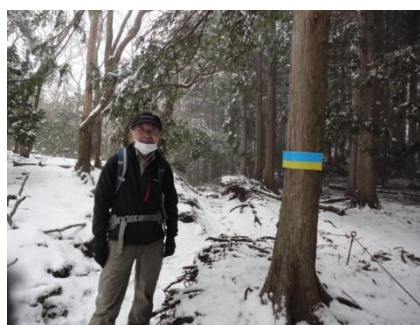


山行報告 山歩会 サークル山行 報告 2022/03/12  
山行場所 天城山～天城峠縦走 登り 200m、距離 1.3 k m  
日時 2022/03/09 (水曜日) /曇りのち晴れ  
参加者 3名

行動記録 ホテル 06:30==07:00 天城縦走登山口---- 0720 四辻 (万二郎岳登山口) ----0820 万二郎岳 0830--- 10:05 万三郎岳---1055 1353m 地点 ---- 11:25 戸塚峠----12:00 白田峠 ---- 13:00 八丁池 13:10--- 八丁池歩道分岐--- 御幸歩道起終点--- 14:20 水生地歩道入口---水生地---1450 休憩所 ----1505 天城峠 1518==河津駅

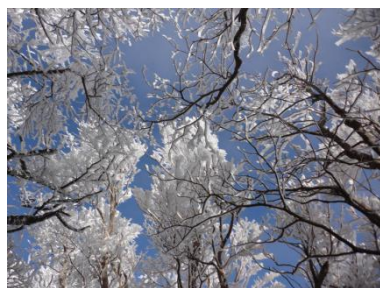
山行記録 伊豆半島付近に低気圧が発生する予測から山行日程を1日延期し、併せて計画より30分先行してゴルフ場の駐車場を出発した。

雪解けしていない登山道にはコース標識がウクライナ国旗と同じだと気が付く。小麦の黄色と空の青でテーピングされ、誰か反戦のために付けたのかと話しながら進む。(標識の正解は逆向きの様だ。)

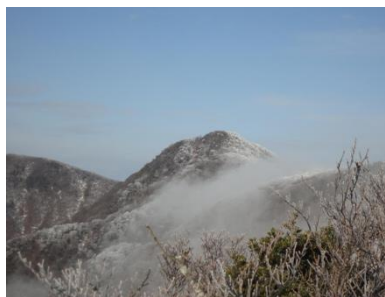


#### 道標はウクライナ国旗？

当初は山頂付近のみ積雪と思ったが、昨夜半の雨は天城山付近は雪になっていたようで、登るにつれて石楠花や馬酔木の木々は霧氷が付いていて白さが際立っている。又、万二郎、万三郎岳も揃く輝き、伊豆の山らしくない景色を見せている。



霧氷



万二郎冬景色



登頂模様

万二郎岳と万三郎岳の間のコルに向かって進むと凍った急坂となり、待ってましたとばかり今年初めてのアイゼン歩行を楽しんで下る。どんな状態でも手間取ることなくアイゼンの着脱ができることは非常に安心だ。

万三郎岳ではウーバーイーツのお兄ちゃんが登ってきて、誰がサプライズの差入れを注文したかで話が盛り上がる。結論は受けを狙っている登山者だった。

万三郎岳から先は伊豆の山らしく、ブナ林の中を進む。途中、皮子平の分岐道で望むが周辺の山と変わらず、去年の定例山行計画時の判断した林道歩き往復4時間に見合う場所とは思えないの結論に至る。

落葉が厚く積もった上に雪がかぶっていて滑りやすいもののフカフカ絨毯を歩くように八丁池を目指す。歩き始めて10Km程となり、疲れが出てくるがバスの時間のことを思うと気が急ぐ。

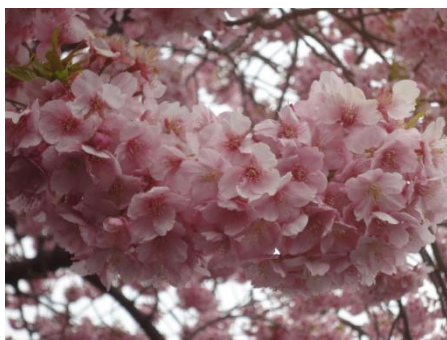
池の凍結は無く、静かな景色を見せてくれた。



白田峠

30分のハンデーも使い切ったため、15:48天城峠発に間に合うよう馬力をあ上げて八丁池歩道、御幸歩道、水生地へ下る。何とこの間で30分短縮して、余裕を持って旧天城トンネルを散策する。小説の伊豆の踊子は、書生が川端康成とのことだが、娘はどんな子かな？の妄想話で話題は尽きない。

結局計画より1本前の15:18河津行きバスに乗れ、後は車窓から満開の河津桜見物を楽しんだ。



河津桜 満開！！